

日時 2018年3月15日(木) 午後6時～8時

場所 文京区区民センター 3F-B 会議室

出席 12名

テーマ1 横関英一『江戸の坂 東京の坂』より「昌平坂いろいろ」 担当：松本崇男

テーマ2 杵築の坂 担当：瀧山幸伸

テーマ1では横関説の述べる「昌平坂」を参考に、三つの同名の坂・昌平坂の変遷を湯島聖堂の歴史とともに検証した。『御府内往還其外沿革図書』よりいくつかの時代の湯島周辺図(延宝年中図・元禄七～九年図・宝永七～八年図・寛永十～十一年図・文政七年図)を比較することで昌平坂の変遷を確認した。一方、江戸時代の昌平坂の姿を『昌平志』に掲載された挿図、浮世絵、古地図、地誌などを参考に調べた。

テーマ2では2017年12月2日に坂巡検で訪れた「杵築の坂」を杵築市と折衝を担当した瀧山理事から報告された。

1、坂巡検の際に撮影した動画を杵築の坂の解説とともに見た。

2、調査報告書(2018年1月7日付で作成された「大分県 旧城下町の坂 全調査」と題した8項目59ページにわたる報告書)から要点が発表された。資料として杵築の坂地図および杵築の坂巡検に先だって杵築市にご用意いただいた杵築歴史研究会会長 杉安嘉正氏作成の「杵築の坂調査資料」が参加者全員に配布された。

A、杵築市の地形と歴史的背景

B、杵築旧城下町の坂として38坂(無名坂を含む)が示されたが、無名坂の扱いと無名坂の命名について議論された。

なお、坂巡検に際しては杵築市の皆さんに多大なご協力をいただいた。当日は土曜日でお休みにもかかわらず杵築歴史研究会会長杉安氏、杵築市長永松氏、杵築市観光課長黒田氏にご参加いただき貴重な話をうかがったとのことであった。